



この度、名取市文化会館は 「令和2年度地域創造大賞(総務大臣賞)」を 受賞いたしました。

この賞は、地域における創造的で文化的な表現活動のための環境づくりに特に功績のあった公立文化施設を顕彰し、全国に広く紹介することにより、公立文化施設のさらなる活性化を図り、美しく心豊かなふるさとづくりの推進に寄与することを目的として、一般財団法人地域創造が主催しているものです。受賞にあたり、以下の評価を頂きました。

◎文化による“心の復興”に尽力

長年にわたり子どもたちへの音楽アウトリーチ事業に力を入れ、東日本大震災の被災下でも支援演奏を展開。以来、市内全小学4年生へのアウトリーチに加え、仙台フィルハーモニー管弦楽団と協働した「Arf for Kids@なとり わくわく楽しい音楽会」、仙台高等専門学校と協働した親子向け全館イベントなど、文化による心の復興に尽力した。

(令和3年1月29日付 一般財団法人地域創造ホームページより抜粋)

名取市文化会館は今後も名取市の文化振興の拠点として、市民の方々にとって身近な芸術体験の場として親しまれる施設を目指してまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



大規模修繕のための臨時休館について

🚧 下記期間、大規模修繕のため臨時休館いたします。ご不便とご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。 🚧

臨時休館期間 2023(令和5)年1月4日～2月28日〈2ヶ月間〉

- 窓口業務および電話対応は行います。(9:00～18:00 ※第1・3火曜日除く)
また、多目的ホール「希望の家」は通常開館いたします。(9:00～20:00 ※第1・3火曜日除く)

交通アクセス

- ・仙台空港アクセス線「杜せきのした駅」より徒歩8分
- ・JR「名取駅」より徒歩17分

※タクシーをご利用の場合はJR「名取駅」が便利です。

※駐車場の収容台数には、限りがございます。公共交通機関をご利用になるか、できる限り乗り合わせてご来館くださいますよう、みなさまのご協力をお願いいたします。



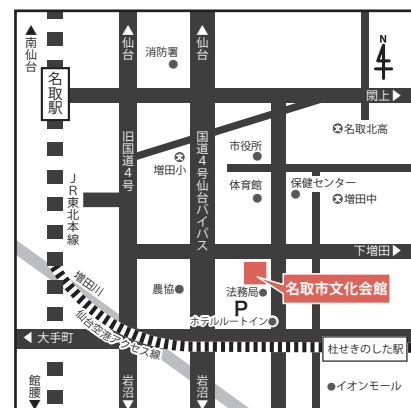
名取市文化会館

公益財団法人名取市文化振興財団

〒981-1224 名取市増田字柳田520
TEL 022-384-8900 FAX 022-384-6684
(第1・3火曜日を除く9:00～18:00)

ホームページ: <http://bunka.natori.or.jp/>

🐦 Twitter 📘 Facebook ▶ 名取市文化会館



文化の森

特集 アウトリーチ・ワークショップレポート プロと市民の交流

- 2022 公演スケジュール
- 地域創造大賞 受賞
- 大規模修繕のお知らせ

ぶんかのもり
vol.53
2022.4

アウトリーチ ワークショップ レポート

プロと市民の交流

名取市文化会館では、プロの演奏家やアーティストと市民との交流を図るため、主催公演の連携事業としてワークショップやアウトリーチを開催しています。プロとの間近での交流の様子をお届けします。

Art for Kids@なとり 小学校アウトリーチ

令和3年6月21日～25日

文化会館では毎年、市内小学校4年生全クラスを対象とした本格的なクラシック音楽の出張コンサートを行っています。普段、あまり触れる機会の少ないクラシック音楽を、演奏だけではなく親しみやすいお話や楽器体験などを交えながら、子ども達にとって身近な場所である学校で聴くことで音楽への興味・関心を持ってもらうことを目的としています。

令和3年度は、6月21日～25日に東京交響楽団首席ハープ奏者の景山梨乃さんを迎えハープの演奏を行いました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で昨年鑑賞できなかった5年生の参加も募り、希望のあった学校は5年生も一緒に鑑賞しました。例年は、音楽室など演奏家とより近い環境で開催していましたが、感染対策のため体育館や多目的ホールなど広い環境で実施しました。



ハープを初めて見た子ども達がほとんどで、金色に輝く楽器の美しさに驚き、優しく穏やかな音色に静かに耳を傾けていました。クラシック曲のほか、ハープが使われているジブリアニメでお馴染みの曲もあり、子ども達は、知っている曲が始まると友達と目を合わせて喜んでいました。演奏の合間には楽器の歴史や音の鳴る仕組みなどを

楽しく学ぶことができるようクイズが出され、約45分間のコンサートはあっという間の時間でした。

不思議だったのは、全ての学校でハープの演奏が始まると必ず鳥たちが集まってきて鳴き、ハープとのアンサンブルが生まれたことです。自然豊かな名取市ならではの現象だったかもしれません。



須川展也プロデュースプロジェクト 地域交流プログラム

令和3年12月3日～4日

令和元年から始まった、「須川展也プロデュースプロジェクト」は、日本サクソフォン界を代表する名手・須川展也さんをプロデューサーとして迎えて展開してきたプロジェクト。毎回、名取市内の学校や公民館でアウトリーチコンサートを開催する他、市内の吹奏楽部や愛好家へのクリニック、マスタークラスを行い、サクソフォンの魅力と音楽の楽しさを伝えてくださいました。

令和3年のアウトリーチコンサートは、市内二つの中学校で実施しました。クワルテットでの演奏のほか、ソロコーナーでは楽器紹介が盛り込まれ、各楽器の特徴や音色を聴き比べることが



できました。また、進路選択など日頃から将来について考えている中学生の生徒たちに、演奏家を志したきっかけやその道のりを話してもらったことで、子どもたちもこれから進む道について考えるきっかけになった様子でした。楽器クリニックでは、ア

ウトリーチ後に吹奏楽部を訪問し、アンサンブルコンクール直前の生徒たちにコンクールで演奏する楽曲を指導しました。楽曲、各パート、それぞれに抱えている課題に合わせてプロ直々にスキルを伝授され、生徒たちの音色もみるみる豊かになっていきました。マスタークラスでは、個人レッスンとアンサンブルレッスンの2コースに、10代から60代まで幅広い年齢層の愛好家が参加しました。3年間、毎年参加してくれた受講生も多く、講師の先生はもちろん、受講者同士の交流も深まり、地域の愛好家が集い情報交換できる良い機会になりました。



能・狂言体験 ワークショップ

令和4年1月12日

令和4年1月12日(水)に小ホールを会場として、「能・狂言体験ワークショップ」を開催しました。これは令和3年10月3日(日)に東日本大震災復興祈念事業として大ホールで開催した復曲能「名取ノ老女」狂言「舟渡智」の関連事業として、プロの能楽師を講師に迎えて能や狂言の謡、所作などを体験していただく企画です。

まず前半は「狂言」。始めに狂言についての説明があった後、講師の方々の実演による有名な演目「盆山」を鑑賞いただきました。盆栽を盗もうとする男と屋敷の主人のユーモラスな掛け合いを間近で楽しんだ後は、実際に受講者の皆様に



狂言小舞「あの山」を取り上げ狂言の体験を行いました。「あの山から、この山へ…」所作を交えた一つのなぞなど、その答えは可愛らしいある動物でした。

その後休憩を挟み、後半は「能」のお時間です。スライドを交えながら、有名な演目「羽衣」を体験していただきました。扇の持ち方や腕の伸ばし方など、実際に身体を使って所作を体験することで、鑑賞とはまた違った

「演じる」楽しさも味わって頂く機会となりました。

古くから人々に親しまれてきた「能」と「狂言」。二つの伝統芸能を鑑賞と体験でより楽しく分かりやすく触れることができたワークショップとなりました。ご参加いただきました皆様、ありがとうございました。



令和4年度 公演スケジュール

Art for Kids @なとり わくわくパビリオン

5月3日(火・祝)～4日(水・祝)
【入場無料】
※直接会場へお越しください。

大和証券グループ Presents 佐渡裕／反田恭平 新日本フィルハーモニー交響楽団 50周年記念演奏会 名取市文化会館開館25周年記念

5月29日(日) 大ホール
15:00開演
出 演: 佐渡 裕(指揮)
反田 恭平(ピアノ)
新日本フィルハーモニー交響楽団

Art for Kids@なとり わくわく楽しい音楽会

7月18日(月・祝) 中ホール
14:00開演
出 演: 今野 沙知恵(ソプラノ)
岸波 愛学(テノール)
伊藤 明子(ピアノ) 他

声優朗読劇 フォアレーゼン

8月6日(土) 中ホール
開演時間未定
出 演: 人気声優

避難訓練コンサート

9月7日(水) 中ホール
15:00開演
出 演: 吉川 団十郎 他

名取市文化会館で語る ふるさとの昔ばなし

1回目 8月11日(木・祝) 14:00開演
2回目 10月9日(日) 14:00開演
3回目 12月18日(日) 14:00開演
4回目 令和5年3月12日(日) 14:00開演
小ホール
出 演: 名取昔ばなし語りの会
ゲスト: 大平悦子
【入場無料】

東混ゾリステン ～東京混声合唱団メンバー8名による～

11月5日(土) 中ホール
15:00開演
出 演: 東京混声合唱団メンバー
(ソプラノ) 松崎ささら・大沢結衣
(アルト) 尾崎かをり・小林音葉
(テナー) 千葉弘樹・平野太一朗
(バス) 佐々木武彦・下西祐斗
(ピアノ) 北野悠美

新・名取寄席 part10 @文化会館

令和5年3月4日(土) 小ホール
14:00開演
出 演: 古典芸能家